

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」.....

たまちゃん通信

平成 30 年 5 月発行 99-1

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号したがって、
TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311
e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

お手玉遊びは脳トレの代表格

指導者を「コンシェルジュ」と呼ぶ

日本のお手玉の会八王子お手玉の会(鈴木幸子会長)は、「お手玉遊びは脳トレ」と位置づけて、新しい試みをはじめました。その基本は、次の考え方から生まれています。



「脳には、①記憶する、②時間、場所を認識する、③読み書きをする、④計算する、⑤言葉を

話す、⑥道具を作る、⑦物事の上しあしを判断する、⑧理解する…これらの機能があり、これを認知機能といいます。脳が働くには、たくさんのエネルギーが必要です。そのため脳が働いている時、たくさんの血液が流れ脳に酸素と糖が運ばれます。たくさんの血液が流れることで、脳の低下を防ぎ若々しさを保っています」(認知ネットから抜粋)

脳を鍛えるには、楽しく行うことが大切です。楽しくするには、楽しむ工夫が必要です。人とのコミュニケーションや、自分の能力より少し上を行うことにより、より効果的に脳は活性化するといわれています。

お手玉遊びの活動は「お手玉ロジーLHC」

そこで、鈴木会長は、次のように考えました。

お手玉遊びは脳トレというところから、「お手玉遊び」のグループを、『お手玉ロジーLHC』と呼ぶことにしました。L=Laugh(ラフ：笑う)、H=Health(ヘルス：健康)、C=Circle(サークル：仲間)の頭文字を並べました。いかがでしょうか。

そして、もう一つ、会員がいろいろな「お手玉教室」に出かける際、自分たちを「指導者」と呼んでいました。未熟な自分たちを上から目線での指導者と呼ぶことに抵抗があったので、「支援者」つまり「コンシェルジュ」と呼ぶことにしました。したがって、お手玉遊びの講習会も、「お手玉遊び支援者講習会」といっています。

八王子お手玉の会では、これから、私たち「お手玉ロジーLHC」を、「お手玉コンシェルジュ」として、お手玉遊びの普及に取り組んでいきたいと考えています。

平成 29 年度の活動への参加者 15,178 人(実数)

このようにして取り組んだ結果、八王子お手玉の会の平成 29 年度は、活動回数 410 回、参加会員数延べ 1,577 人、参加者数 15,178 人(実数)、お手玉づくり 29 か所、32 回に及んでいます。(写真：平成 29 年度八王子お手玉の会第 3 回大人が楽しむお手玉遊び大会)